

編集後記・・・

本誌編集長だった故人来院貞子さんから、『そろそろ「炉ばたセイ談」の原稿催促をと思っていましたところ、桐野三郎会長よりご提案がございました。皆様「ここに送りたいします。』と、四月にお便りを頂きました。ところが、五月の二日にお亡くなりになったとの報に接し、吃驚仰天致しました。■一ヶ月ほどして重朝氏に「原稿ごうしませしょうか?」と恐る恐る伺ったら「貞子は賑やかなことが好きだったから、是非7号を発刊しましょう。それを着に皆で集まろう。それが自分の生き甲斐にもなる」と言ってくれました。■それから桐野三郎会長のご指導のもと、ごうやらほぼ当初の予定に近い時期に発刊に漕ぎ着けました。皆様のご協力を厚くお礼申し上げます。■前述の桐野会長の「提案は二月の東日本大震災を受けて一人でも多くの方にその所感を寄せて欲しい」と言っただけでした。しかしながら今回の急な事態を受けて、最小限の貞子さんに関する弔辞、偲び文、最後の肉声として、「随筆かごしま」の最終寄稿文、鹿児島謡曲連合会報「風姿」5号での入来

新能の紹介、それに永年の文筆活動での作品リストを加える事にしました。毎号ごとの寄稿文も常連新人と賑やかになりました。■文集の作成にあたっては各種原稿の整理や配列は重朝氏と協議しながら中西喜彦が担当しました。文集のレイアウトやイラスト挿入および印刷所との折衝は下土橋渡が担当しました。■貞子さんの「別れ」は辛いけど、この文集で「再会」して、「炉ばたセイ談」を益々盛んにしたいものです。(中西 喜彦記)

「炉ばたセイ談」 第7号

炉ばたセイ談会会長 桐野三郎

編集担当 中西喜彦

下土橋渡

事務局〒895-1402

薩摩川内市入来町浦之名130

入来院重朝方

電話・ファックス 0996-44-3586

印刷 新大同印刷株 (0996-30-1811)